

「情報A」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校
教諭 森 登茂弘

- 1.日 時 平成 25 年 2 月 8 日（金）第 2 限目
- 2.場 所 データベース実習室(産振棟三階)
- 3.学 年 1 年 3 組（19 名）
- 4.生 徒 観 個々の生徒の学力差はあるが、実習授業においては大きな隔たりはない。授業中に不規則発言をしてしまう生徒や、集中力が続きにくい生徒がいるので声かけをしながら意識させたい。
- 5.単 元 プレゼンテーションソフトの利用
- 6.単元目標 プレゼンテーションソフト「パワーポイント」の基本的な使い方を修得し、いかに効果的に論旨を伝えるかについての技法を学ぶ。
- 7.本時の目標
自分がよく知る童話（昔話）を題材にパワーポイントでアニメーションを作成する活動を通じ、聞き手(情報の受け手)の立場に立った効果的な表現方法を工夫させる。
- 8.本時の創意工夫（5 観点について①～⑤）
 - ① 授業のはじめにあらかじめ作成しておいた例を演示し、見通しを持たせる。
 - ② 中央モニターだけでなく、生徒モニターにも投影して集中させる。
 - ③ 質問が出た際に、中央モニター投影し、他の生徒にも反応させる時間を設ける。
 - ④ 中学校まででは修得していないと思われるアニメーション技法についても紹介する。
 - ⑤ 話を聞く場面と、自由に活動する場面のメリハリをつけ、自己で行動規制がとれなくなりそうな場面ではしっかりと指導・支援する。
- 9.本時の展開

	学習内容	学習活動（生徒の活動）	・指導の留意点*支援 （教師の活動）	学習 形態	創意工夫 ①～⑤
導 入 （5 分）	・本日の学習内容を 聞く。 ・作成例をみてプレ ゼンテーション を聞く。	・服装を整え始業の挨拶をする。 ・点呼を受け準備物の確認をする。 ・中央モニターを見ながら説明を 受け本時の内容を理解する。	・全員の体制が整うまで待ってか ら号令をかける。 ・作成のヒントになるようなアニ メーション技法を取り入れたス ライドを用意する。	全体	① ② ⑤
	アニメーション効果を上手にを使って、見る人の関心を高めるようにしよう。				
展 開 （40 分）	・ストーリーの 構成（10 分）	・作品の題材を決め、シナリオを 考える。	・シナリオ作成用のワークプリン トを配付し見通しを持たせる。 ・できるだけ単純で誰もが知って いる題材にするよう指示する。	個人	⑤
	ワークはイメージをまとめるためのものなので、細かく描く必要はありません。				
	・スライドの作 成（15 分）	・必要な素材をあつめる。（5 分） ・スライドを作成する。（10 分）	・アニメーション効果はできるだ け最後にし、まず場面をつくるよ う指示する。	個人	③
	見ているひとを楽しませるようなアニメーション効果をつけましょう。				
ま と め （5 分）	・効果の挿入 （15 分）	・アニメーション効果をつけてみ る ・リハーサルを行ってみる。	・机間巡視をしながら助言を行う。 ・工夫がみられるものがあれば全 体に紹介し、意欲を高める。	全体 個人	④
	・ファイルの保 存	・適切に自分のフォルダに ログインする。	・保存場所ファイル名の指 示	個人	⑤
	自分自身も楽しんで作れましたか、イメージを膨らませいろんな工夫をしてみよう。				
	・シャットダウ ン	・きちんと片付け、全体で 終わりの挨拶をする。	・最終、切り忘れや後片付け の不備がないか確認する。	全体	

